



本市では来年度、市役所本館の耐震補強改修工事が実施されることになりました。今年度に計画が策定され、2017年12月に工事が完了する予定です。1970年に建設された市役所本館は老朽

福岡・糸島市議

笹栗 純夫



防災拠点の機能維持へ

市役所本館を耐震補強

化が進んでおり、2010年に行った耐震診断では震度6から7程度の地震が発生した場合、1階部分が倒壊か崩壊の恐れがあるとの結果が出ていました。

市では本館の耐震補強の必要性を議論して、2010年に行った耐震診断でもあり、補強計画が立てられないままに断では震度6から7程度の地震が発生した場合、1階部分が倒壊か崩壊の恐れがあるとの結果が出ていました。

補強の早期実施を主張。併せて、現時点で庁舎が被害を受けた場合を想定した行政機能の立ち上げ訓練などの実施も要請しました。その結果、市側からは、補強工事の具体的な計画とともに訓練の充実も示されました。今後も市民の生命を守る施策の実現に全力で取り組んでまいります。